

市長に聞く

楽しく遊べる・楽しく学べる

平川動物公園

■平川動物公園への市長の思いをお聞かせください。

平川動物公園は大正5年に開園した鴨池動物園が前身で、昭和47年に現在の場所に移転しました。私は、鴨池で生まれ育ちましたので動物公園には親しみを持っています。平川動物公園はこれまでに2300万人を超える皆さんにご来園いただいております、全国でも有数の動物公園になっています。



森 博幸 市長

およそ31万4000平方メートルの広大な敷地にキリンやサイ、シマウマなどが暮らすアフリカ園をはじめ、約130種類、1000点の動物が飼育されています。なかでもコアラの飼育頭数は現在7頭で、これまで56頭のコアラが誕生しています。来年度にはオーストラリアから新たに3頭を受け入れることも決まりました。また、今年5月に誕生した3頭のホワイトタイガーの名前は市民の皆さんから公募し、リク、カイ、メイに決まりました。その愛くるしい姿を一目見ようと、多くの皆さんにご来園いただいております。他にもシシオザルやハナジカなどの赤ちゃんが続々生まれており、家族一緒に眠る姿などは本当にかわいくておすすめです。

■今後の平川動物公園に期待することをお聞かせください。

現在、平川動物公園では「楽しく遊べる・楽しく学べる動物公園」を基本コンセプトに平成21年度から7年間かけて大規模なリニューアルを行っており、さらに魅力ある動物公園になると考えています。既にリニューアルした野生のイヌ・ネコゾーンでは、ライオン、オオカミを大きなガラス越しに間近で見ることができ、迫力があります。インドの森ゾーンのゾウの近くには来園者が安らいでいただけるように足湯を設置しました。また、園内を流れる五位野川を楽しみながら緑



ホワイトタイガー・コユキの様子
(平成24年2月頃撮影)

陰で休憩できる親水テッキは、多くの皆さんに喜んでいただけていると思います。さらに今後は、獣医師や飼育員の話を聞くことができる動物学習館なども整備を予定しています。

また、動物公園の隣には、桜島や錦江湾を眺望でき、花と緑があふれる錦江湾公園もありますので、動物公園に来られた際にはお立ち寄りいただきたいですね。

「人にも、動物にもやさしい」、「南国鹿児島らしい特色ある動物公園」を目指すこととしており、今後とも全国に誇れる平川動物公園が持つ魅力を積極的に情報発信してまいりますので、さらに多くの皆さんにご来園いただきたいと思っております。